

西淀川の交通・移動について
考えてみよう!

第1回



第1回 7月17日(土) 13:30~15:30

「お話&体験! 車いすの視点でまちをチェックしよう」

- ・あなたが住んでいる西淀川は、みんなにとって住みやすい町になっていますか?
- ・今日は車いすの視点からまちの移動環境について、考えてみましょう!
- ・今日は車いす利用者の^{とが} ^{きくよ} 紀久代さんから、西淀川区内の移動環境についてお話をうかがいます。
- ・実際に、車いすを使って、まちなかの不便さを体感します。

① このプロジェクトの経緯と目的

○このプロジェクトの経緯

あおぞら財団では、西淀川地区沿道環境に関する連絡会、西淀川交通まちづくり意見交換会・討論会などに関わり、西淀川区内の交通・移動環境に対する様々な提言を行ってきました。行政に対して提言を続けていくことは重要ですが、市民自らが提言した内容を実現化し、移動環境を少しでもよりよいものに変えていくという行動も重要です。このプロジェクトでは、市民が中心となって、交通・移動環境をよりよいものにしていく行動をおこすきっかけにしたいと考えています。

○プロジェクトの目的

本プロジェクトでは、市民が主体となって、西淀川区内の交通や移動に関する情報を収集し、地域内の交通や移動の課題について話し合います。調査した情報は、マップや報告書としてまとめて、西淀川区民に広く公開します。

② プロジェクトの流れ

時期	内容
1回目 7月17日（土） 13:30～15:30	●お話&疑似体験！ 車いすの視点でまちをチェックしよう ・車いす利用者の方から西淀川区内の移動環境についてお話を聞きます。 ・実際に車いすを使って、まちなかの不便さをチェックします。
2回目 7月24日（土） 13:30～15:30	●お話&疑似体験！ 視覚障害と高齢者の視点でまちをチェックしよう ・視覚障害者の方から西淀川区内の移動環境についてお話を聞きます。 ・視覚障害者と高齢者の疑似体験装具を使って、まちの不便さをチェックします。
3回目 8月21日（土） 13:30～15:30	●話し合い：西淀川区の移動・外出について話し合おう ・西淀川区内の移動・外出について、自由に話し合います。 ・どのような情報があれば便利かを考えます。
4～7回目 9～12月	●調査：西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう ・西淀川区内の公共交通機関、商業施設などの移動のしやすさについて調べます。
8～10回 1～3月	●話し合い：調べた内容の使い方について話し合おう ・調べた内容、話し合った内容をどのように活かしていくのかを話し合います。
3月	●調べた情報を整理し報告書としてまとめ、発信しよう ・移動・外出の情報を必要としている人に配布します。 ・大阪市などに提出し、外出・移動環境の改善に向けた検討を求めます。

③ 本日の講師の紹介



とが きくよ さん
梅 紀久代さん

西暦 1952 年生まれ。大阪市西淀川区在住。

UD プロデューサー

福祉コンサルタント

宅地建物取引主任者

大阪産業大学大学院 客員講師

1979 年麒麟麦酒(株)尼崎工場退職後、プロの専業主婦として生活。

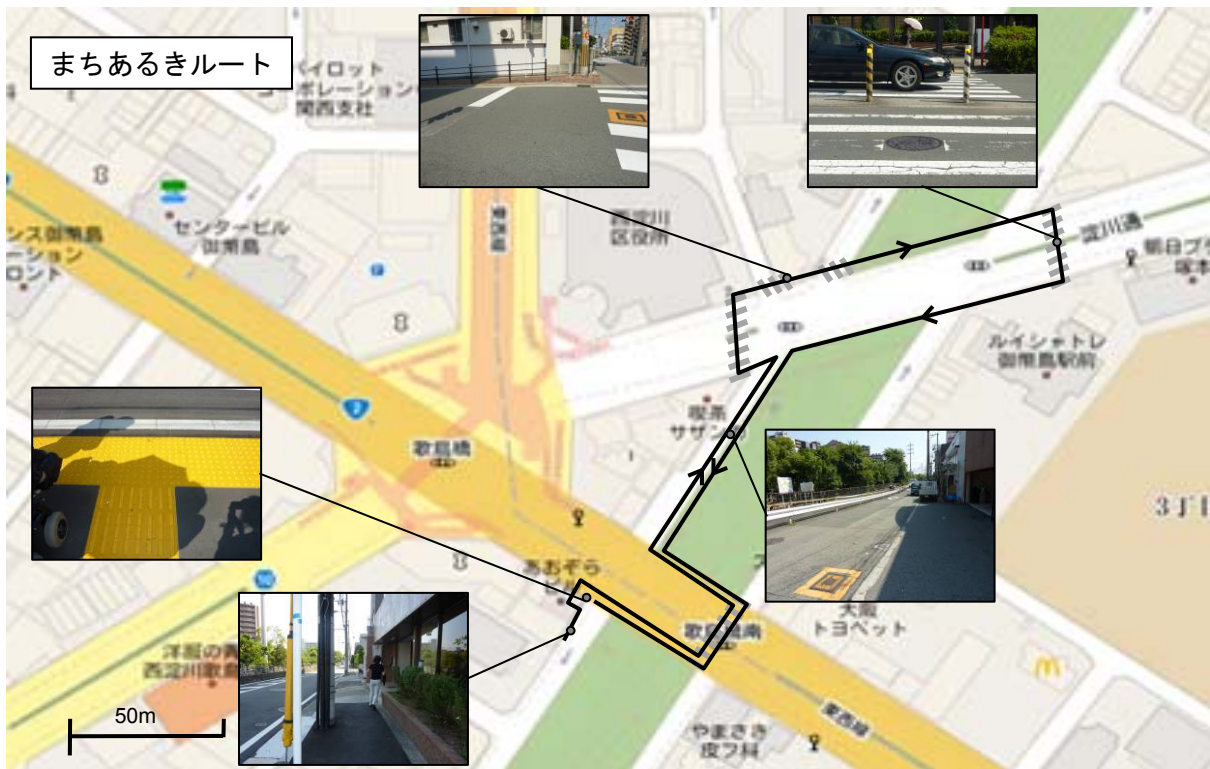
1980 年 5 月 3 日赤信号で停車中、九死に一生の事故に遭いました。それ以来、23 年間診断書もない中途半端な健常者の時代を過ごし、12 年目にして始めて手にした診断書。「脳脊髄液減少症」その時同時に障害認定を頂き、1 種 1 級の車椅子生活者となる。

2004 年「プチハウスなな」を起業。現在は、「障害者や高齢者にとって必要なものは、健常者にとっても便利なもの」これをコンセプトに身近な小物から住環境空間に至るまでユニバーサルデザインを提唱。ホテルや公共交通機関のユニバーサルデザインを推奨。

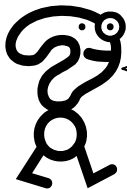
(トガキクヨ・ドットコム <http://www.togakikuyo.com/index.html> より引用)

④ 本日の内容

13:00 (10 分)	あいさつ
13:10 (40 分)	車いすでまちあるき (あおぞら財団→区役所→信号→あおぞら財団)
13:50 (10 分)	休憩
14:00 (30 分)	車いす利用者の梅 紀久代さんからお話
14:30 (25 分)	話し合い ※車いす体験や梅さんのお話をふまえてみなさんで話し合います。 ※2 班に分かれて話し合いをした 20 分間したのち、5 分間全体で話し合いのまとめをします。
14:55 (5 分)	アンケートに記入



⑤ 宿題



あなたが住んでいる周りや、普段言っているお店が車いすで使いやすいかどうかチェックしましょう。

- ・ 車いすで使いやすい工夫がされている場所、お店
- ・ 車いすで使いにくい場所、お店

を探してみましょう。

参考資料：バリアフリー、車いすに関して

■環境をバリアフリー化する意義

① バリアフリー化することで、個人の生活機能を高めることができる

- ・障害を持っている／持っていないに関わらず、自分の意志で、自分に必要な行動をすることができるようになる。
- ・「生活に必要なことを社会が提供しないとき、そこで初めて障害は悲劇となります。車いすで生活していること自体は悲劇でも何でもありません」(アメリカの車いす活動家 ジュディ・ヒューマンの言葉)

② バリアフリー化することで、公平な社会を実現できる

- ・バリアフリー化されていないと、障害を持っている人と障害を持っている人との間の生活しやすさの差が大きい。
- ・バリアフリー化されれば、障害を持っている人と障害がない人との間の生活しやすさの差が小さくなる。
- ・格差が小さい社会は、社会全体の公平性を高めることができる。

③ バリアフリー化することで、「安心」「安全」な社会を実現できる

- ・バリアフリー化された環境が必要なのは、障害を持っている人だけではない。
- ・人はいずれ高齢者になる。また、怪我、妊娠、子連れ、大きな荷物を持っている時など一時的にバリアフリー化された環境が必要になる時がある。
- ・私たちの身の回りの環境がバリアフリー化されていれば、今は必要でなくても、必要になった時に「安心」「安全」に過ごす事ができる。

④ バリアフリー化することで、社会を活性化することができる

- ・障害を持っている人は、社会環境がバリアフリー化されていないために、社会活動に参加しにくい状況にある。
- ・社会環境がバリアフリー化されれば、障害を持った人が、仕事、娯楽、外食、交流など、様々な社会活動に参加しやすくなり、社会全体を活性化する事ができる。

■ 4つのバリア

① 物理的バリア

- ・道路や施設を利用する際に、行く手を阻むもの。
- ・例：段差や幅の狭い入り口など。

② 制度的バリア

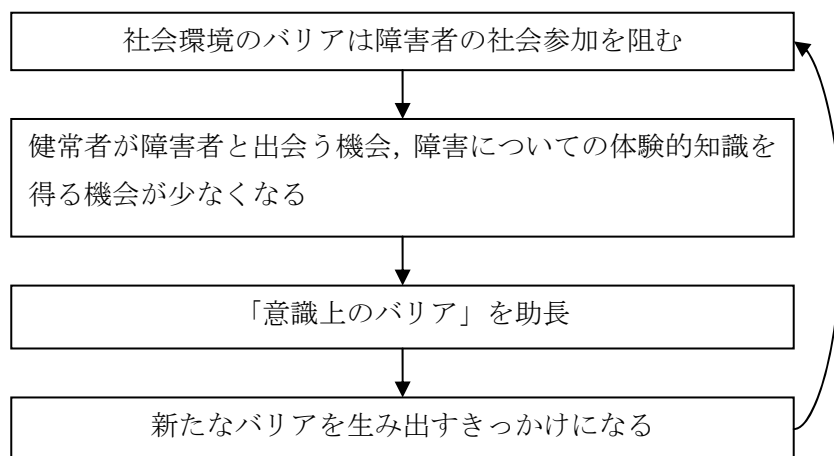
- ・障害や年齢などによって、入学や就職などの社会活動への参加の機会を阻むもの。
- ・例：障害者に係る欠格条項（自動車運転免許、医療関連業務の免許など）。

③ 文化・情報のバリア

- ・情報伝達の欠如や文化に親しむ機会の制約など、見る、聞く、話す、触れるといったことができない場合に不都合が生じる事。
- ・例：視覚障害者や墨字（普通文字）で書かれた情報はアクセスしにくいいため、新聞・書籍などから情報を得ることが難しい。

④ 意識上のバリア

- ・文化や価値観として個々人の奥底に無意識に入り込んで、偏見や差別を生んでしまうバリア他のバリアの根底にある。
- ・例：障害者は「〇〇ができない」という決め付け、差別、障害者に対する恐怖と忌避、障害者は弱い存在であり、庇護する対象であるという認識など。



**「バリアの再生産」の環をたちきることが、
真のバリアフリー化に向けて「はじめての一步」になる**

■ユニバーサルデザイン

① ユニバーサルデザインとは？



ロン・メイス氏

- ・1980年代 アメリカ ロン・メイスが提唱（自らの車いす利用者としての立場を踏まえて）
- ・建物や施設を追加の費用なく、あるいは最低の費用で、障害のある人だけでなくすべての人にとって機能的で魅力的にデザインする方法です。
- ・移動に困難のある人に対する製品やデザインがスペシャルで高くつくという既成概念を破り、バリアフリーデザインの無骨で魅力のない見栄えの悪さをなくす考え方です。

② ユニバーサルデザインが対象とするすべての人とは？

「すべての人々は何らかの障害を持っている」という考え方
→健常者など存在しない

③ ユニバーサルデザインの7つの原則

原則 1：誰でも公平に使用できること **原則 2：柔軟に使えること**



階段、エスカレーター、エレベーターが入口からわかりやすい位置に集めて設置されており、だれでも好きなものを選択できる



階段、エスカレーター、エレベーターが入口からわかりやすい位置に集めて設置されており、だれでも好きなものを選択できる

原則 3：使い方が容易にわかること



押す部分が大きく、照明が付いていないときには内臓されたライトが光るスイッチなので、すぐにわかり簡単に押すことができる。

原則 4：使い手に必要な情報が容易にわかること



日本語に加え、英語や図記号で表示され、ライトが入っていて明るいサインなので、情報がすぐに理解できる。

原則 5：間違えても重大な結果にならないこと



浴室は滑りやすく危険だが、段差のない入口を付けることによって、安全性を向上させている。

原則 6：少ない労力で効率的に、楽に使えること



自動販売機の商品ボタンや取り出し口などが、すべて1m ぐらいの高さにあり、大人でも子どもでも自然な姿勢のまま利用できる。

原則 7：アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること



十分なスペースに、ベビーシートなどの設備があるトイレは、乳幼児連れや車いす利用者だけでなく、だれもが気持ちよく利用できる



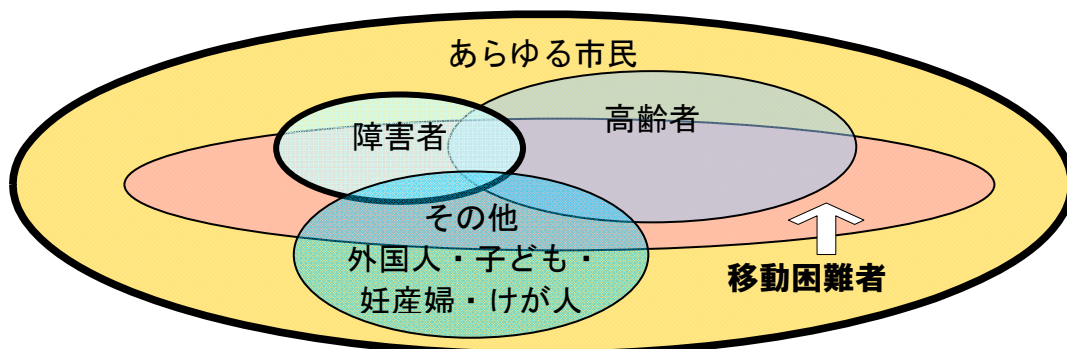
7つの原則をすべて満たしたデザインはあるの？

- ・7つの原則を満足していても、環境に負担をかけるものはありません。
- ・完璧なユニバーサルはありません。7つの原則のうち5つしか満足しなくても十分な価値はあるし、完璧でなくてもより多くの人が使えものをめざす事が必要です。

※熊本県：ユニバーサルデザイン・ネットくまもと (<http://www.pref.kumamoto.jp/site/ud/>) より

■移動困難者について

- ・障害を持っておられなくても、一時的な怪我や妊娠、乳幼児連れなどによって、移動に困難を抱えている人（移動困難者）がおられます。
- ・ある調査では、移動困難者は市民の3割程度いると推計されています。移動に関する問題は、少数の人たちの問題ではありません。また、今、移動に困難を抱えていない人であっても、いつ移動が困難になるとも限りません。



■障害について

- ・先天的な障害がある人よりも、事故や病気など何らかの原因がもとに障害を持つようになった人がたくさんおられます。
- ・成人になってから障害を持った人が障害を受容して自立して生活するためには、社会的なサポート、適切な情報提供が欠かせません。

西淀川区内の身体障害者数

- ・西淀川区には、身体障害者手帳の交付を受けている人が4,004人います。
- ・100人の人がいたら、そのうち4人は何らかの身体的な障害を持っているということです。
- ・実際には、障害がありながらも手帳の交付を受けていない方もたくさんおられます。

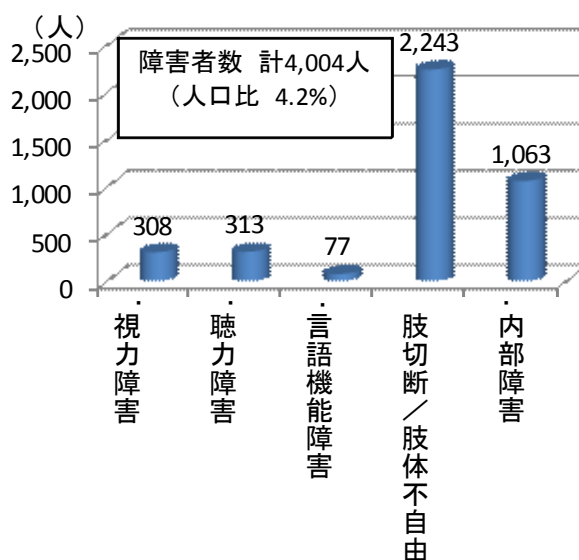


図 西淀川区内の身体障害者数
(西淀川区役所：平成21年度 西淀川区の現状・資料集より)

■車いすの構造



■車いすのひろげ方・折りたたみ方

ひろげ方

- ①車いすは、座席を両手で押し上げると広がります。
- ②シートの左右の金具棒を手のひらで押し捧げます。この時、座席と両サイドの間に手を挟まれないように注意してください

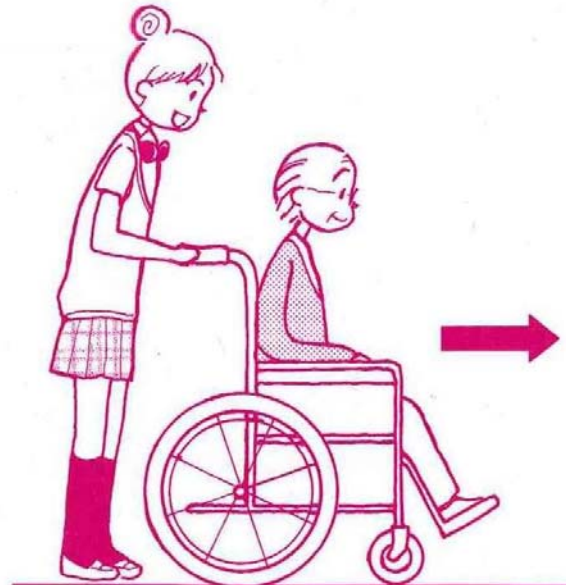
折りたたみ方

- ①左右のフットプレートを上げます。
- ②シートの真ん中の手前側と奥側を持ち、上に引き上げます。
- ③完全に折りたたみます。

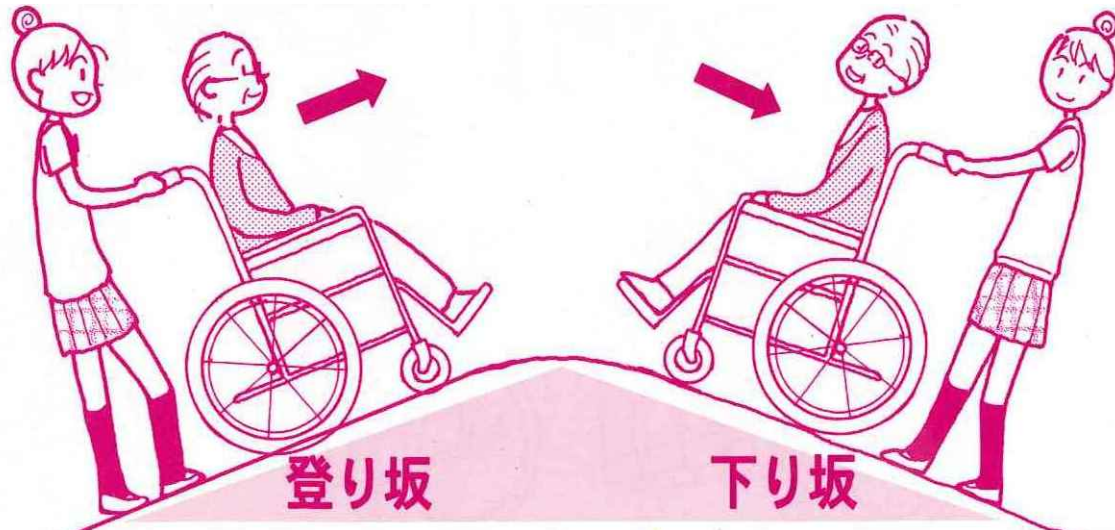
■車いすの介助の仕方

平地での基本姿勢

- ・車いすの真後ろに立って、両手でハンドグリップを深くしっかり握る。
- ・一定の歩く速度でゆっくり押す。



スロープ、坂道では



上り坂

- ・後ろから少しからだを前に傾けて押し上げる。

下り坂

- ・後ろ向きで車いすを支えながらゆっくりとおろす
- ・緩やかな下り坂で前向きで下る必要がある場合は、車いすを引っ張り上げるようにしながらゆっくりとおろす。

一段をのぼる（前向き）

※キャスター上げをするときは「キャスターを上げますよ！」と声をかけましょう。



ステッピングバー
を押し出すように
踏む。

同時にハンドグ
リップを押し下げ、キ
ャスターを段にの
せる。

後輪を押し上げる

一段をおりる（後ろ向き）



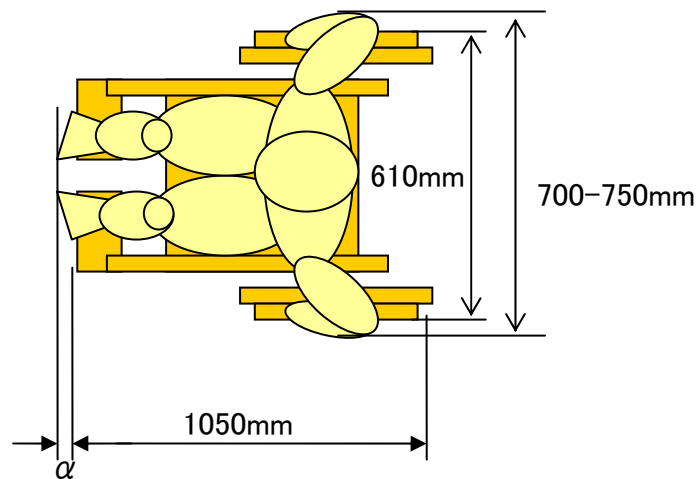
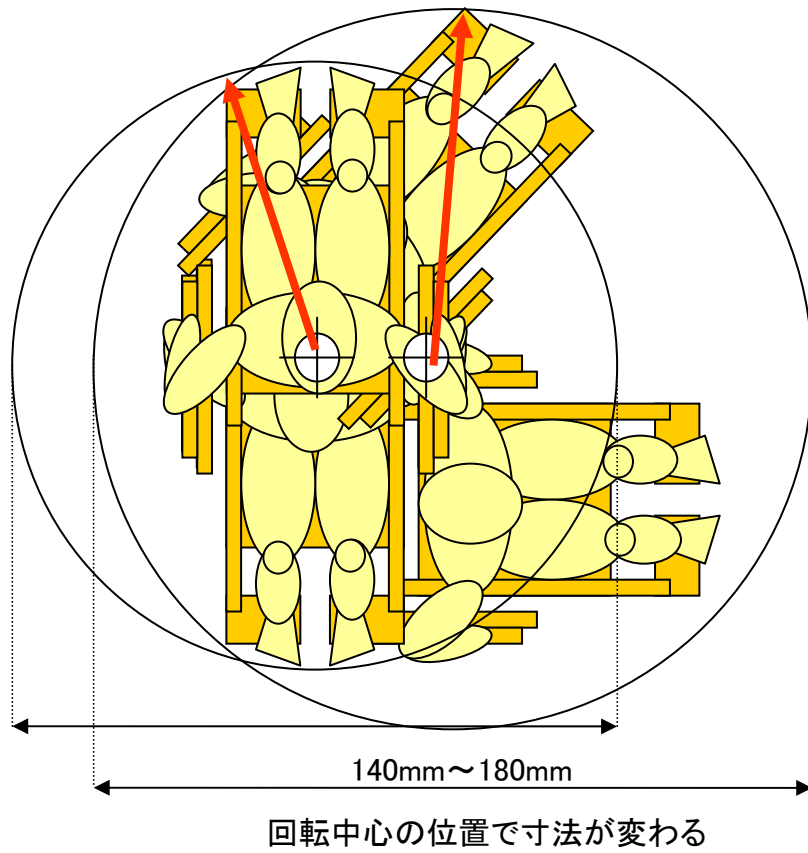
車いすを後ろ向き
にし、後輪を下ろ
す。

キャスターを上げ、
後ろに引く。

フットレストが段
にあたらないよう
にキャスターをゆ
っくり降ろす。

■車いすに必要なスペース

※標準型車いすの場合



■建築物のバリアフリー基準

① 出入口



- ・建物の出入口、居室の出入口などは車いすで円滑に利用できるようにすることが必要です。
- ・出入口の幅と前後のスペースを確保します。

■玄関出入口の幅

最低限：80cm 以上、望ましい基準：120cm 以上

■居室などの出入口

最低限：80cm 以上、望ましい基準：120cm 以上

② 廊下等



- ・車いすを使用する方の通行が容易なように十分な幅を確保する事が必要です。

■廊下幅

最低限：120cm 以上、望ましい基準：180cm 以上

③ スロープ



- ・スロープは緩やかなものとし、手すりを設け、上端には点状ブロック等を敷設します。
- ・長いスロープには踊り場を設けることも必要です。

■スロープ幅

最低限：120cm 以上、望ましい基準：150cm 以上

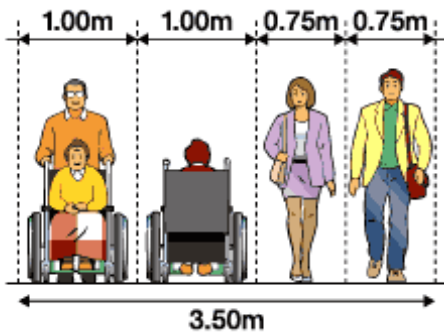
■スロープ勾配

最低限：1/12 以下、望ましい基準：1/12 以下（屋外は 1/15 以下）

※ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律パンフレットより

■歩道のバリアフリー基準

① 歩道の幅



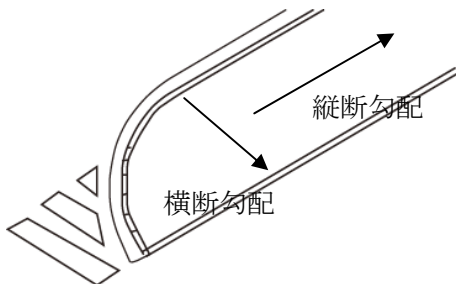
車いす同士がすれ違う事ができるように、

- ・ 人どおりが多い場合は、3.5m以上確保します
- ・ 少ない場合は、2.0m以上を確保します

自転車歩行者道の場合は

さらに、1.0m 広げる必要があります。

② 勾配



- ・ 縦断勾配（延長方向の勾配）は、5%以下にします。

- ・ 横断勾配（路線直角方向）は、1%以下にします。

③ 歩道の高さ



- ・ 車道に対する高さは5cmを標準とします。

- ・ 歩道と車道との高さは2cmを標準とします。

（※歩道と車道の境界を0cmにすると、視覚障害者の識別性を確保できません）

※ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 道路移動等円滑化基準より

■事例1 みんなで支えるコミュニティバス

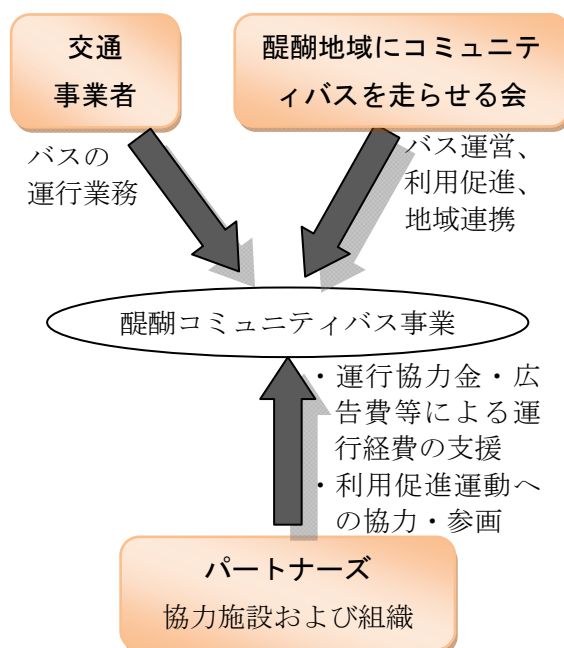
- ・今までバスはバス会社や行政等が運行するものでしたが、今、住民が中心となってバスを運行している事例が増えています。
- ・住民みんなで支えることで、
 - ①営利バスが成り立たない地域でもサービスレベルの高いバスを運行することができる
 - ②住民のこまやかなニーズを把握することができて、柔軟に対応できる
 - ③町の問題をみんなで共有できる
 といったメリットがあります。

市民による市民のための手づくりのコミュニティバス —醍醐コミュニティバス—



- ・経路：5系統
- ・車両：リフト付き
- ・料金：1回200円、1日乗車券300円
- ・運行頻度：1・3・5号線は約1時間間隔、2・4号線は約30分間隔

- ・1997年に、地下鉄延伸により市営バスが撤退し、住宅地内を走っている路線バスがなくなりました。
- ・住宅地内の交通の不便さをなくすために、地元の自治会が中心となって市民団体を結成し、数年をかけて検討を重ねました。
- ・2004年に、市民による「醍醐コミュニティバス」が開通しました。
- ・運営費は、利用者の運賃収入だけでなく、地域内の企業、商業施設、病院、市民からパートナーズ支援金を集めています。



※醍醐コミュニティバス (<http://www16.ocn.ne.jp/~daigobus/index.html>) より

■事例2 バリアフリーマップ

- ・障害を持つ方、高齢の方たちが外出する際に、外出先にエレベーターがあるのか？ 車いすに対応したトイレはどこにあるのか？ お店やレストランに入ることができるのか？ などなど、様々なことに不安を抱えています。
- ・行政や交通事業者等もバリアフリー情報を発信していますが、情報が公共施設に限られていたり、生活を楽しむような内容は盛り込まれていません。
- ・市民団体などが、公的施設だけでなく、お買い物や観光などのおすすめ情報など、外出したくなるような情報を盛り込んだマップを作り、発信しています。

障害があっても車いすでも神戸を楽しむためのガイドブック 神戸ユニバーサル観光ガイド



- ・高齢者や障害者の神戸での刊行をサポートする NPO 法人「WING KOBE」が発行しているガイドブックです。
- ・観光、グルメ、ショッピング、宿泊といった施設の紹介など、障害者の方が神戸を楽しめる総合的なガイドブックです。


新神戸ロープウェー



神戸の街、神戸空港、六甲の山並を眺しみながら約10分の空中散歩。ロープウェーから見る夜景は絶景。車いすのまま乗れるゴンドラが10台に1台の割合で稼働中。

078-271-1160
営 9:30~17:00・下り最終17:30(天候・気候により異なる)
休 無休
HP <http://www.shinkoberopeway.com/>

風見鶏の館



車いすでもかろうじて入れる数少ない異人館の一つ。館内までに、庭の砂利道と、入り口の階段があるが館内のスタッフに言えば車いすを担ぐのを手伝ってくれる。せっかく神戸に来てやはり異人館を見て帰りたいという人はここへ。
入館料300円(高校生以下、65歳以上の神戸市民、身体障害者等は無料)

078-242-3232
営 9:00~18:00(4月~11月)、9:00~17:00(12月~3月)
休 3・6・9・12月第1火曜日(祝日営業・翌日休)
HP <http://www.ijinkan.net/ijinkan/kazamidori.html>

- ・エレベーターや車いすに対応したトイレ、駐車場などの情報だけでなく、物理的にはバリアフリーにはなっていないものの、人的なサポートで対応してくれる情報なども掲載しています。

※神戸ユニバーサルツーリズムセンター (<http://wing-kobe.org/>) より

